

事務事業名		飛駒基幹集落センター維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	市民生活部	担当課	飛駒支所	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり				担当係		担当課長名	永瀬 明子		
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 市民活動団体への支援と連携強化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	市単独事業・国県補助事業		市単独事業				
予算科目	1446	一般	2	1	9	飛駒基幹集落センター維持管理事業				任意の事業・義務的の事業	任意の事業
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S52年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市生活改善センター条例、同条例施行規則				実施方法	直営
										事業分類	施設維持管理事業(市主体)
										リーディングプロジェクト	該当なし
										市長マニフェスト	該当なし

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
佐野市生活改善センターとして設置している飛駒基幹集落センターの維持管理業務、修繕、保守管理委託を行う。		・飛駒基幹集落センターの維持管理業務 ・冷暖房設備保守点検業務委託・自家用電気工作物保安管理業務委託・浄化槽維持管理業務委託・消防用設備等点検業務委託・貯水槽清掃業務委託・センター清掃業務委託 ・冷却ポンプ修理(5月) ・北駐車場水銀灯修理(1月)					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
設備点検数		件	16	16	16	16	16
修繕件数		件	4	2	2	5	5
清掃回数		回	36	34	36	36	36

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①利用者 ②施設、設備 ③市民の主体的な活動支援	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	利用者数	人	3,110	2,845	3,352	2,900	2,900
	延床面積	m ²	735	735	735	735	735
	利用回数	回	140	129	180	135	135

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

①安全で快適に施設を利用できる ②安全で快適な環境に施設を維持できる	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	施設の維持管理上不都合の件数	件	4	2	2	5	5

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

・市民活動団体が活発に活動している。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	市民活動に携わっている団体数	団体	330	335	340	345	350

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	4	7	9	4	4	
	一般財源	千円	2,080	1,926	1,918	2,282	2,284	
	事業費計(A)	千円	2,084	1,933	1,927	2,286	2,288	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	1,372	需用費	1,216	需用費	1,203
			役務費	6	役務費	6	役務費	7
委託料			706	委託料	711	委託料	703	
				負担金・補助金及び交付金	14			
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
	のべ業務時間	時間	680	636	628	630		
	人件費計(B)	千円	2,646	2,506	2,445	2,453		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,730	4,439	4,372	4,739		

事務事業名	飛駒基幹集落センター維持管理事業	担当部	市民生活部	担当課	飛駒支所	担当係	
-------	------------------	-----	-------	-----	------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町において、山村振興の一環として昭和51年度に建設され、昭和52年3月から飛駒基幹集落センター(生活改善センター)として事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	建設以来39年が経過し施設・設備等の老朽化が進んでいる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	「現状維持により対象外」

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 飛駒基幹集落センターの維持管理事業を取り組むことにより、環境が整備され市民の主体的な活動の場が確保できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 センターは、地域産業の発展、教養文化の向上及び住民福祉の増進を図ることを目的とし、地元市民が様々な事業で活動の拠点としている。又佐野市公民館条例で飛駒地区公民館として位置づけされている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 条例に基づくものであり意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 飛駒基幹集落センターの維持管理事業のため現状維持の状況である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 野上基幹集落センター維持管理事業 施設が山間部にあり、飛駒地区、野上地区と間違いに分散しているため、利便性から見ても統合はできない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 維持管理する上で必要な人数・経費であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 佐野市生活改善センター条例に基づき、利用者から適正な使用料を納入いただき事業を行っている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	条例に基づく事務であり、この事業は継続される。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト	
		削減 維持 増加	
		向上	
		維持	○ ×
		低下	× ×